



日時

2020年10月9日（金）

12:00 - 13:00

会場

京王プラザホテル
4F 花C（第2会場）

第64回 日本医真菌学会総会・学術集会 ランチオンセミナー2

座長：吉田 耕一郎 先生

近畿大学病院 安全管理部 感染症対策室

深在性真菌感染症と院内感染 －呼吸器真菌症を中心に－

演者：大野 秀明 先生

埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科



深在性真菌感染症と院内感染

－呼吸器真菌症を中心に－

深在性真菌症の主な原因真菌としてアスペルギルス属、カンジダ属、クリプトコックス属、ムーコル属があげられ、その病態や疾患背景は多様である。我々は真菌感染症を診療する立場にあるが、同時に院内感染にも気を配る必要があり、院内で感染発病させない、他者へ伝播させないことにも努めなくてはならない。侵襲性肺アスペルギルス症は、一般的には白血病患者や抗癌化学療法により好中球減少を来した宿主に好発し、予後不良となりやすい真菌感染症であるが、その発症には宿主の免疫学的要因の他に院内環境の因子も絡んでくる。実際にある報告では、院内発症の肺アスペルギルス症の感染源として、院内での建設作業や空調器が指摘されている。一方、近年ではCandida aurisの院内感染が注目され、多くの報告を目にするようになった。

本セミナーでは、真菌感染症と院内感染について、おもに呼吸器系の真菌症について概説するとともに、感染対策についても考えてみたい。

Memo

A large light blue rounded rectangle containing horizontal lines for taking notes. The lines are evenly spaced and extend across the width of the rectangle, providing a space for handwritten text.